

小児期からの治療を継続し季節性症状が残る青年期アトピーの経過 (22 歳)

症例 ID：001-20-IT2 | 記録日：2015 年 12 月 15 日

1. 診断・治療前経過

小学校 1 年頃にアトピーと分かり、皮膚科で処方されたステロイド外用薬を長く使用していました。学校生活では外見に関する言葉を受け、精神的な負担も大きくなりました。

中学生頃に松本医院を受診され、煎じ薬、漢方風呂、外用薬による治療を始めました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小学校期から中学生頃までステロイド外用薬を使用していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	小学校 1 年頃から松本医院受診前までです。
中止時期	松本医院受診時に中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小学校 1 年頃	来院前	アトピーと分かり、外用薬による治療が続きました。
中学生頃	治療開始	松本医院を受診し、煎じ薬、漢方風呂、外用薬による治療を始めました。
治療開始後 3 か月	初期経過	毎日の内服、入浴、外用処置を続けました。
高校～大学期	長期経過	治療を継続しながら病気や治療について理解を深めました。
22 歳時点	治療継続中	秋から冬の乾燥期には症状が強くなるものの、治療を続けています。

4. ピーク時期

ピークの具体的な皮膚状態や時期は不明ですが、小児期から症状が続き、学校生活でも大きな心理的負担があった時期です。

5. 困りごと

- 外見について周囲から言葉を受け、学校生活で強い精神的負担がありました。
- 季節の変わり目、特に秋から冬に症状が強くなる状態が続きました。

6. 経過のまとめ

小児期から長く症状が続きましたが、中学生頃から治療を継続しました。

22 歳時点では秋から冬に症状が強くなるがありますが、通院経過の中で皮膚状態が安定に向かう変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。